

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要と 南野川小学校における今後の取組について

日頃から本校の教育活動にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

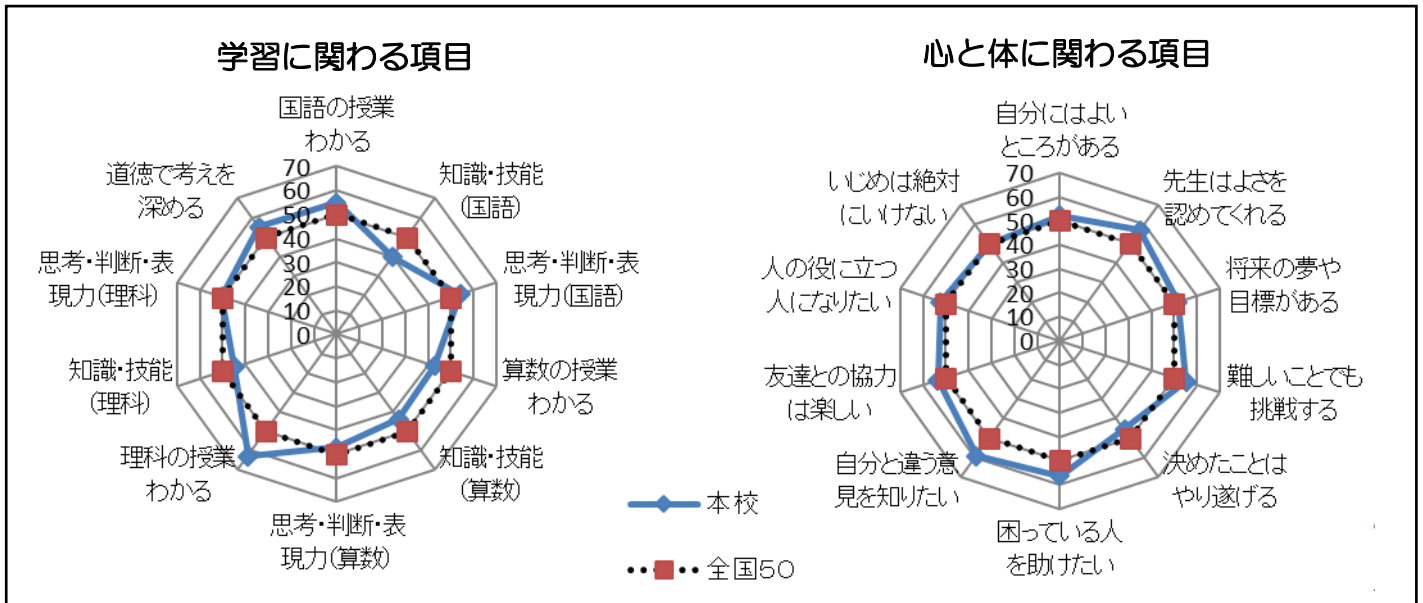
本校では、「みんなと育つ南野川の子」を合言葉に、学校教育目標「たくましい子 のびる子 力を合わせる子あかるい子」の実現を目指し、以下の4点を重点に日々の教育活動を進めております。

- ①確かな学力の育成
- ②児童指導の充実
- ③豊かな心・健やかな体の育成
- ④開かれた学校・安全安心な学校

4月19日に6年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査につきまして、本校の学校教育目標並びに学校経営方針を踏まえ、学校づくりに生かす視点から分析を行い、今後の取組について報告いたします。

なお、全国学力・学習状況調査の結果で測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることが調査の実施要領に示されております。本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えいただきたいと存じます。

1. 本校の調査結果概要グラフ ※全国結果を50とし、それに対する本校の結果を表しています。



2. 調査結果をもとにした分析と今後の取組

※これまでの課題に対する学校の取組 成果 課題 分析 今後の取組

※示している数値…「当てはまる」「どちらかという当てはまる」を合わせた数値。()は全国平均。

〈1〉「確かな学力の育成」について

「授業がわかる」の回答が全国平均を上回るよう、具体物を用いた活動を取り入れたり、反復練習をする時間を確保したり、GIGA 端末を活用したりすることで、一人一人が学力の向上を実感できるような授業を目指して取り組んできました。また、多様な考えを認め合えるような雰囲気づくりに努めてきました。

○国語「思考・判断・表現力」…66.2% (62%)

○理科「授業がわかる」…91.3% (78.5%)

○道徳「考えを深める」…85.2% (80%)

●国語「知識・技能」…60.3% (70.5%)

●算数「授業がわかる」…74.1% (81.2%)

●理科「知識・技能」…57.2% (62.5%)

国語の文章を読み取り、登場人物の気持ちを捉える設問の正答率は全国平均を4ポイント上回っている一方、ひらがなを漢字で書き直す設問の正答率が全国平均を大きく下回っています。漢字を正しく使うことに課題があると捉えています。

算数では「知識・技能」「思考・判断・表現力」に関わる設問の正答率および「授業が分かる」と回答した児童の割合が全国平均よりも大きく下回っており、授業改善を進める必要があると考えております。

「理科の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が9割を超えており、全国平均を上回っています。児童が興味・関心を高くもって学習に臨んでいることが伺えます。しかし、理科の「知識・技能」に関わる設問の正答率は全国平均よりも5%以上下回っており、学習内容の定着が課題です。



漢字の習得が語彙の豊かさに結びつくものと考えています。習得した漢字を各教科等の授業や生活の様々な場面で意識的に使うよう指導の工夫を図り、「知識・技能」の数値が全国平均に近づくよう継続的に指導していきます。算数では、「算数の授業が分かる」の回答率が全国平均に近づくよう、校内での支援体制の充実や個々の授業改善を図ります。理科では、学習したことを日常生活と結び付けて考えることで、生きて働く知識として定着できるような授業改善を図ります。

〈2〉「児童指導の充実」「豊かな心・健やかな体」「開かれた学校・安全安心な学校」について

「礼儀・感謝・思いやり」を重点目標におき、道徳教育の充実を図ってきました。また、特別活動や行事等の様々な場面で効果的な声掛けをすることで、児童の自己有用感が高まるように指導・支援を行ってきました。

○先生はよさを認めてくれる…93.9% (87.1%)

○困っている人を助けたい…95.1% (88.9%)

○自分と違う意見を知りたい…82.7% (73.5%)

●自分にはよいところがある…81.5% (79.3%)

●将来の夢や目標がある…81.5% (79.8%)

●決めたことはやり遂げる…82.7% (87.2%)

「困っている人を助ける」「人の役に立つ」といった自己有用感に関連する設問では肯定的な回答の割合が全国平均よりも高く、良好な状況でした。「先生は自分のよさを認めてくれている」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と回答した児童の割合が高く、日頃の教育活動の中で積極的に互いを認め合えるような言葉かけをしてきた成果だと考えております。しかし、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標がある」と回答した児童の割合は、全国平均を上回ってはいるものの、他の項目と比較すると低い傾向にあります。また「決めたことはやり遂げる」の割合は全国平均を下回っており、課題であると考えます。



キャリア在り方生き方教育で目指す「将来に夢や希望を抱きながら、自分に自信をもって生活できる子」の実現に向けて教育計画を見直すとともに、道徳教育のより一層の充実を図り児童が自分自身を見つめることで、他者が認めてくれたよさを自分のよさや成長として実感できるよう活動を工夫します。自分で決めたことをやり遂げる力は、自らのキャリア形成にも大きく関わることなので、児童一人一人が、自己の目標を意識して、問題や課題の解決に向けて粘り強く取り組むことができるよう継続的に指導・支援していきます。

教育委員会から

南野川小学校では、道徳教育を学校経営の重点とし、児童と教職員が「チーム南野川」として取り組んできた成果が自己有用感の高さから伺えます。一人一人が学力の向上を実感できるような授業改善に努めることで、生き生きと学ぶ子どもたちの姿につながっていると考えています。 【宮前区・教育担当】